

3月26日 志位委員長が千早・小倉で訴え

1850人が参加し聞いた



渾身の訴え!

オンライン350人



やつき博春・いなつき昌子・まじま省三・山口りつ子の各氏
大平剛さん（北九州市立大学教授）からも力強い応援演説が



小倉1000人



木村たくじ・わたぬき康代・わたぬき英彦・すなかわあやねの各氏
吉谷順子さん（美和台後援会）から心のこもった応援も



千早500人

県政のオール与党 自・公・民の議席独占許すな 県民いじめの維新にもNO!

県・福岡市議選 共産党躍進を

県・福岡市議選の告示直前の3月26日、日本共産党の志位和夫委員長が県内で街頭演説を行いました。千早駅前（福岡市）には500人、小倉駅前には1000人が集まり、オンラインでも350人が視聴。合計1850人が訴えに耳を傾けました。

志位氏は福岡県政における共産党の議席の値打ちを語り、教員の増員、子ども医療費の助成拡充、国保料の子どもの均等割の負担軽減などについて熱弁。自民・公明・民主の「オール与党」の県議会の中で下関北九州道路計画などのムダづかいに反対する共産党の役割を説明しました。

国政の問題では、志位氏が国会論戦で使ったパネルを示して岸田政権の大軍拡を告発。東南アジア諸国連合を手本にした平和の枠組み、日本共産党の野党外交の実績を訴えました。

最後に志位氏は、党大会を例にして、共産党の党内民主主義の実践をくわしく伝え、共産党の躍進による県議選・福岡市議選勝利を呼びかけました。

各演説か所では、県議予定候補、福岡市議予定候補が熱烈に訴え、応援弁士の皆さんも心のこもった推薦の言葉を述べました。参加者からは「大軍拡を止める正念場ですね!」などの感想が出されました。